

東北地方 1 か月予報

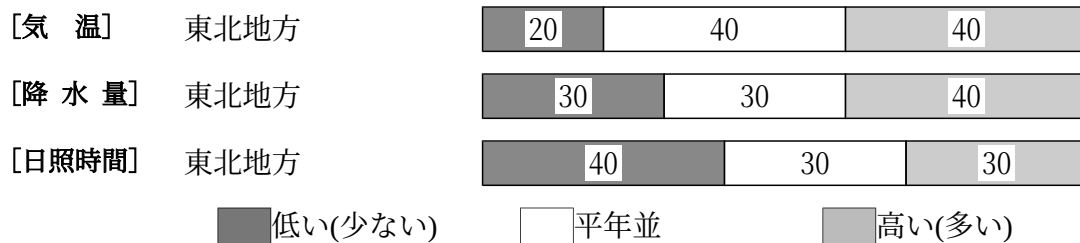
(3月29日から4月28日までの天候見通し)

平成20年3月28日
仙台管区气象台発表

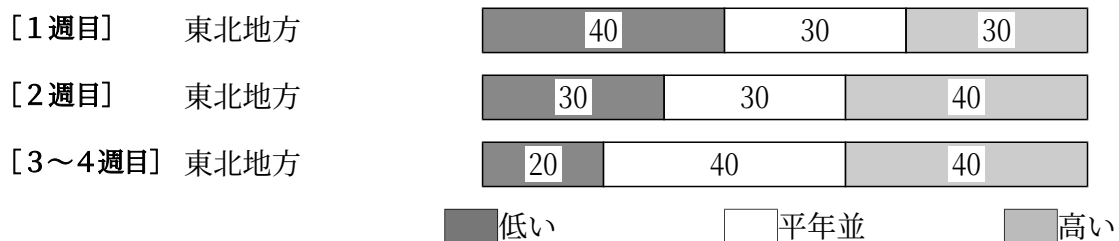
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。
向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。
週別の気温は、3～4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1 か月 : 3月29日(土) ～ 4月28日(月)
1 週目 : 3月29日(土) ～ 4月 4日(金)
2 週目 : 4月 5日(土) ～ 4月11日(金)
3～4 週目 : 4月12日(土) ～ 4月25日(金)

<次回発表予定等>

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は4月4日
3 か月予報：4月24日(木) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	7.4	65.7	188.9	4.9	6.5	8.6
深浦	7.8	98.3	175.5	5.5	7.0	8.8
むつ	6.7	84.1	195.1	4.3	5.8	7.7
八戸	7.7	60.6	197.1	5.3	6.8	8.8
秋田	8.7	121.6	177.3	6.2	7.8	9.8
盛岡	7.8	98.1	177.8	4.9	6.7	9.0
大船渡	8.5	139.7	179.1	6.1	7.6	9.5
宮古	8.2	98.8	194.5	5.8	7.3	9.2
仙台	9.6	99.5	193.3	7.1	8.7	10.7
石巻	8.7	93.0	196.2	6.4	7.8	9.8
山形	9.2	70.2	180.3	6.1	8.0	10.5
新庄	7.5	105.8	151.9	4.5	6.3	8.9
酒田	9.3	110.7	173.9	6.9	8.5	10.4
福島	10.7	83.9	191.7	7.8	9.5	12.0
若松	9.2	67.6	175.5	6.1	8.0	10.6
白河	9.2	103.9	187.2	6.5	8.2	10.5
小名浜	10.6	131.8	188.5	8.5	9.8	11.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.4	84～114	95～103
東北日本海側	-0.5～+0.5	88～109	95～106
東北太平洋側	-0.3～+0.4	80～115	96～103

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.5～+0.6	-0.5～+0.7	-0.4～+0.3
東北日本海側	-0.6～+0.7	-0.7～+0.8	-0.5～+0.4
東北太平洋側	-0.6～+0.7	-0.5～+0.8	-0.4～+0.4

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 20 年 3 月 28 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (3 月 29 日～4 月 28 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。
平均気温は平年並または高い確率がともに 40%です。

1 週目 (3 月 29 日～4 月 4 日) :

期間の前半は低気圧や寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多いですが、期間の後半は高気圧におおわれて晴れの日がある見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

2 週目 (4 月 5 日～4 月 11 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4 週目 (4 月 12 日～4 月 25 日) :

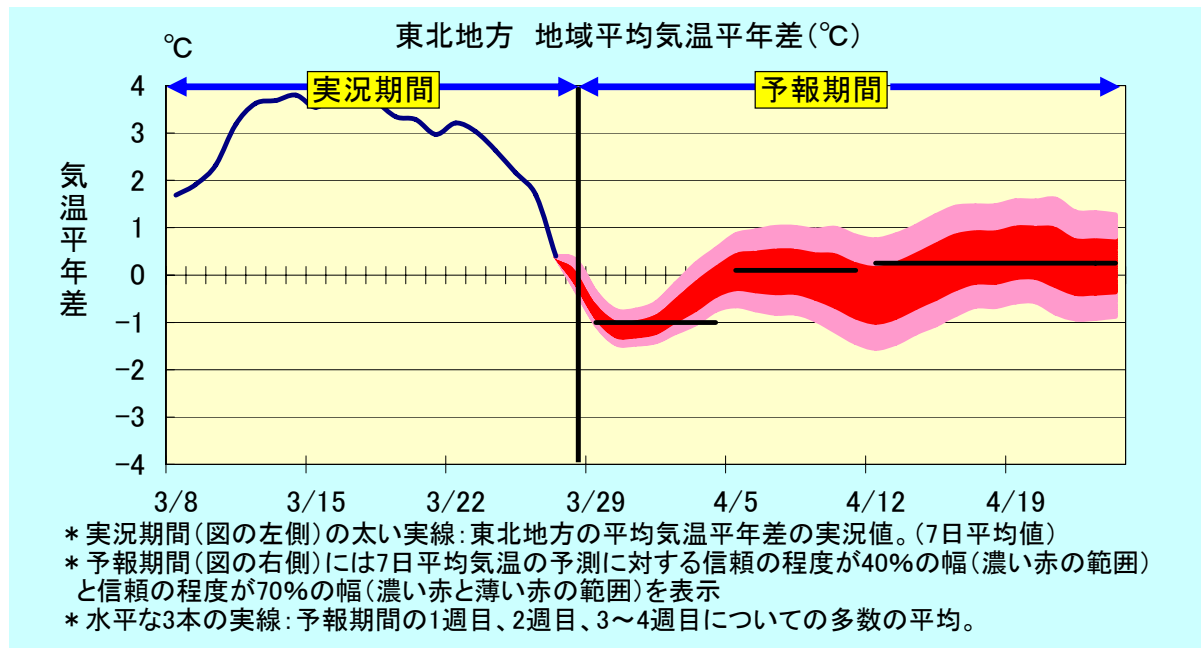
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
平均気温は平年並または高い確率がともに 40%です。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	15.2 日	3.6 日	3.8 日	7.8 日
東北太平洋側	16.9 日	4.3 日	4.3 日	8.3 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目は平年を下回り、2 週目、3～4 週目は平年並付近の予想となっている。予報は、その他の資料から高めに考える。

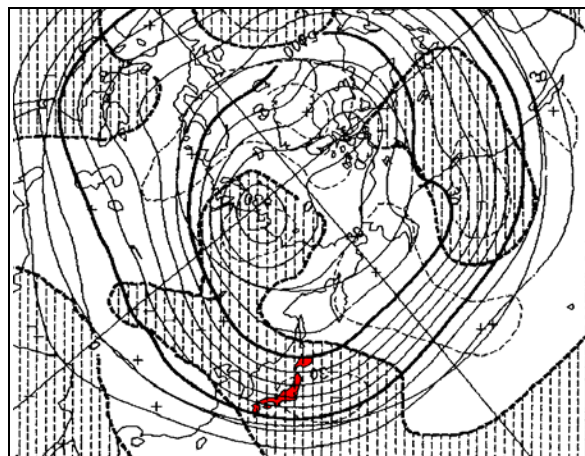


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

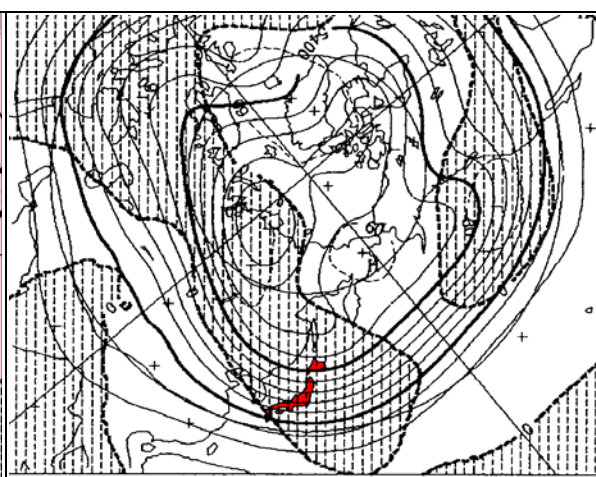
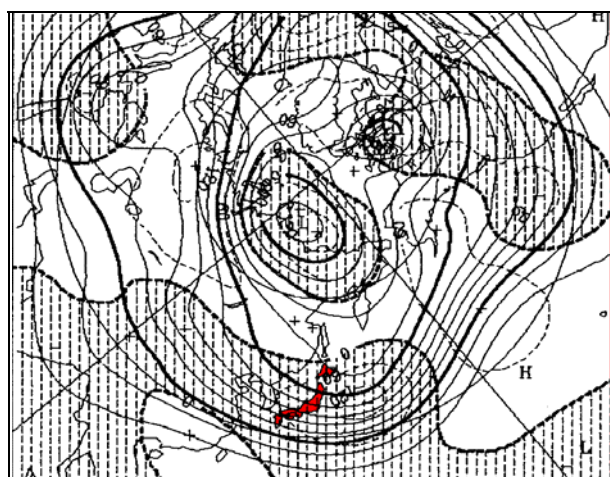
1か月平均: 日本付近は負偏差。弱い東谷傾向で、寒気を引き込みやすい大気の流れとなるが、その影響は一時的。下層の天気図 (図略) では、日本の北に低圧部が予想されており、気圧の谷や前線の影響を受ける見込み。

1週目: 日本付近には負偏差がかかる。強い負偏差は日本の東海上にあり東谷傾向。一時寒気の影響を受ける見込み。

2週目: 1週目の東谷傾向は解消していくが、日本付近にはまだ負偏差が残る。下層の天気図 (図略) では沿海州付近に低圧部が予想されており、東北日本海側を中心に気圧の谷や前線の影響を受ける見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

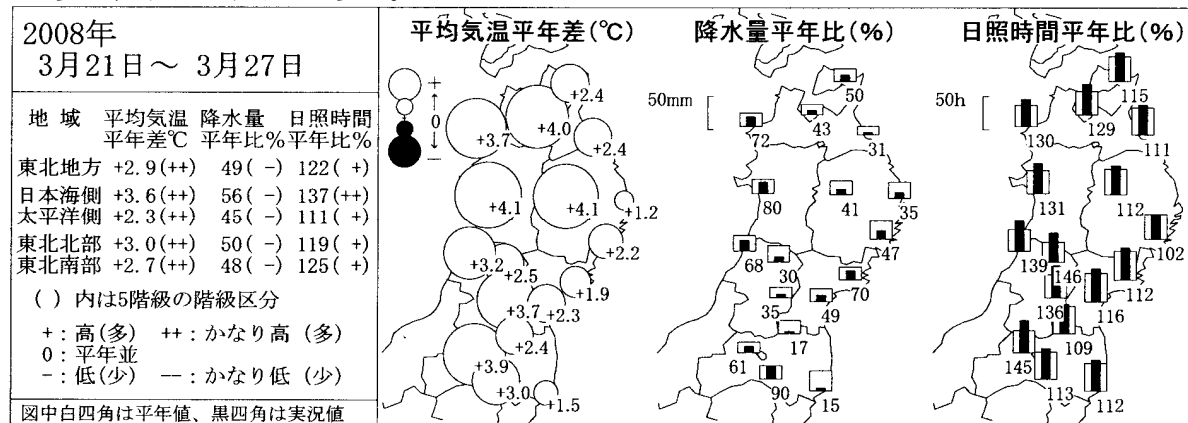
実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (3月21日～3月27日) の天候の経過

この期間、東北地方は期間の前半を中心に高気圧におおわれ、東北日本海側を中心に晴れて、気温は高くなった。24日と26日には低気圧が東北地方に接近したため、雨となったところがあった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)